

高山の 高校紹介

市内の高等学校を
連載で紹介していく
ページです。

第2章

岐阜県立 高山工業高等学校

魅力ある高校づくり
地域課題を踏まえた活力ある学校づくり

■産業現場実習

(デュアルシステム)

企業実習と学校の学習を並行して行う実習授業を、建築インテリア科で実施しています。地元の家具製造会社に出向き、企画開発から製造に至る一連の作業工程を体験します。卒業後はお世話になった企業に就職する生徒もいます。

■知的財産教育

「飛驒の匠の技と心を継承する」をテーマに、地元産業の発展に寄与することを視野に入れ、優れたアイデアを商品として開発し、販売する手法の研究を行なっています。

平成25年には、生徒が特許も取得しました。

■地域連携活動

高山祭屋台のLED化、地元中学校での生徒の作品展示、飛驒特別支援学校との交流会、近隣の花里小学校6年生へのものづくり体験など、様々な活動を行って工業高校の魅力発信を行っています。生徒は工業高校で学ぶ専門の知識や技術を生かした交流を通じて、ものづくりの楽しさや大切さを感じています。

岐阜県立高山工業高等学校

住所／千鳥町291番地

☎32-0418 FAX32-9004

Mail:c27339@grfu-net.ed.jp

HP:http://school.grfu-net.ed.jp/

takayama-ths/

生徒数：406人(全日制工業科)

市長室へようこそ

●市民と市長の面談日

3月15日(水)

午後1時30分～4時15分

※事前にご予約ください



また、始業前の時間も市役所の市長室を「市民と市長の対話の場」として開放しています。お気軽にお越しください。

●開放時間

午前7時～8時30分まで

※出張や特別な行事がある場合は除きます。
※市ホームページで市長の週間スケジュールを公開しています。

●市長室直通FAXもご利用ください
FAX●32-7000

問合せ先 秘書課 ☎35-3130

広報 市長だより

62

輪かんじきに思いをはせる
高山市長 國島芳明

奥飛驒温泉郷平湯の中澤勇夫さんが「輪かんじき」十足を郷土教育に活用してほしいと、市に寄附されました。

古くから猟師らの必需品として雪山の歩行に欠かせない輪かんじき。中澤さんはかんじきを使わない夏場に、材料となるシバマユミの木を調達。温泉に浸して曲げていき、ナラの木を滑り止めの材料にして、かつては牛革で固定して作ったそうです。スノーシューが一般的となった今日、かんじきを見て履いて、歓声をあげながら雪上を歩く子どもたちの姿が目につかびます。

旧清見村が発行した「ふるさと植物誌」に輪かんじきの記述があります。かんじきの前をクロモジの木、後ろをヤマボウシの木で作ります。前を軽くして後ろを重くすることで雪上を歩きやすくするために。さて同誌では輪かんじきにまつわり、岐阜県の山奥に「ドール」という雪崩の妖怪を撃退する呪文が載っていました。

前クロモジの後ボウシ、アメ牛皮のヤツオバエ、シメツケ穿いたら、いかなるものも叶うまいー輪かんじきに秘められた各地の伝承。子どもたちには古くからの先人の暮らしや知恵にも無限の思いをはせてもらいたいものです。

ケーブルテレビの番組「ハイ、市役所です」はインターネットでもご覧いただけます。
市ホームページ「行政情報」の動画コーナー

高山市公式YouTubeチャンネル 検索

編集・発行／高山市企画管理部企画課
〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地
TEL/0577-32-3333(代)
FAX/0577-32-7000(市長室直通)
FAX/0577-35-3174(企画課直通)

HP/ http://www.city.takayama.lg.jp/
E-mail/ kouhou@city.takayama.lg.jp
防災情報などは携帯電話でもご覧いただけます
携帯用HP/ http://mobile.city.takayama.lg.jp/



スキ一部



サテライトキャンパス「飛驒の匠工房」

本校は「かしこく・つよく・ゆたたく」を校訓とし、飛驒地区唯一の工業高校として、機械・電気・電子機械・建築インテリア科の4学科を有し、飛驒地域をはじめ日本全国に多くの卒業生を送り出している伝統校です。全国大会や東海大会に出場する運動系部活動や生産系部活動があり、明るく活力のある学校です。平成28年度からは、地域に根ざした「魅力ある高校づくり推進事業」の指定を受け、次のような「ものづくりを生かした地域連携活動」を推進し、飛驒地区の将来を担うエンジニアリーダーの育成を目指し

ています。
■サテライトキャンパス
「飛驒の匠工房」
平成25年7月から、高山陣屋朝市等で、毎月1回サテライトキャンパス「飛驒の匠工房」を開設しています。木製の飛行機の模型キット、陣屋の釘隠しである真向兎のマグネット、ろうそくの揺らぎをLEDで再現した春慶塗の行灯など、22品目を販売しています。
どの商品も生徒自ら、開発・製造・販売を手がけたものであり、県内の工業高校では本校が初めての取り組みです。